



伊那弥生ヶ丘高校同窓会報

平成 24 年 10 月 27 日発行

第 3 号



同窓会報発行によせて

同窓会長 小坂 博子

会員の皆様にはお元気でご活躍のことと拝察いたします。

母校では記念すべき最大行事、百周年の節目を立派に
冬えられまして、今年新たな一步を踏み始めました。

私は、平成 24 年度より会長という大役を仰せつかる
こととなりましたが、同窓会に精通されました清水前会
長様をはじめ、経験豊かな歴代の会長様方の後任として、
非才な私が務まるのかどうか身の引き締まる思いでござ
います。役員の方々のお力をお借りし、精一杯頑張っ
ていきたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願
いいたします。

変動する社会の中であって、校舎は新しくなりましたが、
銀杏の並木は昔のまま学び舎に寄り添うがごとく、
遠い青春時代が一気によみがえって遙かな百年の歴史の
重みを伝えています。私たちそれぞれ過ごしてきた時代
は違いますが、この学び舎で培われた絆は、世代を越
え長い歴史と伝統の重さを、今ここにしっかりと、頼も
しい在校生に引き継がれ、新たな目標に向けあらゆる分
野で活躍されています。

さて、厳しい社会情勢の中、会員の皆様には大変申し
訳ございませんが、総会の決定事項により、同窓会活動、
母校発展、よりよい運営ができますよう、会費をご負担
いただくこととなりました。なにとぞご理解の程よろし
くお願いいたします



ご挨拶

学校長 南島 信平

この四月に第二十八代校長として、赴任いたしました
南島信平でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

日本そして世界各地の各界でご活躍の同窓の皆様にお
かれましては、ご健勝でご活躍の御事と拝察申し上げます。
また、日頃から本校の教育活動に対しまして、温か
いご支援を賜りますこと厚く御礼申し上げます。

昨年は創立百周年記念事業の一環として学習室である
「日輪館」の整備やクラブ助成のために多額のご寄付を
賜り、誠にありがとうございました。

明治 44 年に伊那実科高等女学校として呱呱の声をあ
げ、今年で創立 101 年目を迎えた本校でございますが、
ここで学んだ二万四千余名の諸先輩が築かれた伝統の上
に、本校では自主自律の規範のもと文武両道を標榜して、
生徒一人ひとりの学力向上と進路実現をめざし、活発な
部活動や多彩な学校行事を通して調和のとれた人間形成
に努めております。

この春には、現浪併せて難関大学をはじめ国公立大に
46 名、私立大学に 342 名、短大に 17 名、専門学校に
36 名の合格者を出すことができました。

また、クラブ活動におきましても弓道部の個人男女と
陸上の女子幅跳でインターハイ出場を果し、器楽部もギ
ター・マンドリン全国大会に出場して 6 年連続で優秀賞
を獲得しました。

四月以来、本会の総会並びに東京の支部総会に出席を
させていただき、同窓の皆様への母校に対する熱い思いに
直接触れることができ、感激をいたしました。

次の百年に向け弥生のよき伝統を守りつつ、時代のニ
ーズに応えられる学校へと改革を進める覚悟で取組んで
参りたいと存じますので、今後とも皆様のご支援を切に
お願い申し上げます。